

あかつき 暁

あかるく かがやく つしまの きぼうのおか

津島市立暁中学校便り

令和5年4月18日(火)

命を守る

4月12日(水)、今年度最初の避難訓練を実施しました。地震発生に続き火災発生という想定で、基本動作と避難経路の確認を主な目的として行いました。

地震発生を知らせる放送の直後、3年生の教室では、生徒達が机の下に潜り込み、頭をしっかりと守っている姿が見られました。また、机の脚を両手で持ち、動かないように支えていました。そして、教室全体から真剣な雰囲気伝わってきました。これまで実施してきた避難訓練や防災に関する学習が、確実に身に付いていることがわかりました。

この地域は、ずいぶん以前から巨大地震が起こる可能性が高いといわれています。また、南海トラフ地震は絶対に起こる、ともいわれています。もしものときには、「命を守る」を最優先にして冷静に行動できるよう、訓練を大切にしてほしいと思います。また、万が一災害が起こった場合には、「守られる人から守る人へ」というように、地域のために活動できるよう、知識と体力を備えた中学生に成長することを期待しています。



【しっかりできています】



【真剣に話を聞いています】

4月14日(金)、1年生オリエンテーションが行われました。

入学式から1週間ほどが過ぎ、少し緊張がほぐれた生徒、まだ緊張して生活している生徒等、人それぞれだと思います。6年間という長い期間を小学校で過ごしてきたので、中学校の制服や教室、生活に

すぐに慣れるのは難しいことです。しかし、自分一人ではありません。少々の差はあるかもしれませんが、1年生全員が同じように感じていると思います。自分のペースに合わせて、新しい生活に慣れていくことが大切です。

この日は、3年間の中学校生活を有意義に過ごすためのいくつかのポイントについて、いろいろな先生から話を聞き、皆で考える機会となりました。また、レクリエーションタイムや校歌コンクールもあり、学級や学年の仲間を意識できたことと思います。

中学校は、義務教育の最後の3年間です。卒業後、長く続く人生を、一人一人が自分の夢に向かって進んでいくことができるよう、この3年間で様々な力を身に付けてほしいと思います。